

カ タ リ ナ

学報

第48号



St. Catherine University

聖カタリナ大学 / 聖カタリナ大学短期大学部

2022. 6. 1



聖カタリナ大学第35回

聖カタリナ大学短期大学部第57回 入学式式辞

学長 ホビノ・サンミゲル



春の季節は愛と希望と新しい命の象徴であると言われています。厳しい冬の季節を乗り越えた大自然は美しくなり、春は私たちの心に喜びと癒しを与えてくれます。このような暖かさの中で321名の若者が大きな希望をもって自分の人生の夢を実現するため高等教育の勉強を始めようとしています。

入学生の皆さん、入学おめでとうございます。

皆さんはこの2年間、コロナウイルス禍のため大きな脅威と不安の中で色々な試練に直面しなければなりません。大変な犠牲を払ってきたと思います。そして、コロナウイルス禍の影響はまだまだ続くことが予想されますので、これからも健康を大事にしなければなりません。今日、私たちは幸いに入学をこのような形で祝うことが出来てとても嬉しく思っております。

そして、コロナウイルス禍のため入学式に参加することが出来なかった保護者の皆さんに心よりお祝いとお喜びを申し上げます。この日のために毎日あなたたちを大切に、力付け、支えてくださったことに対して心から感謝いたします。まことにありがとうございます。

そして、2年間の長いあいだ日本に入学できなかった6名の台湾からの留学生も今日の入学式に参加することができました。異国の地で学習を続けるという自分たちの夢を実現することが出来たことを、心よりお喜びを申し上げます。これから日本語と日本の文化を身に付けて楽しい学生生活を送ってください。

さて、今年度は、本学にとって喜ばしい記念すべきことがあります。大学では4月から看護学科に大学院を開設しました。第1期生も入学生として今日一緒に参加しております。まことにありがとうございます。

今日は皆さんにとって大切な日です。皆さんは今日から人生の新しい階段を登り始めようとしています。将来の社会に大切な役割を果たすために高等教育の勉強を通して準備が始まります。すでに今月の1日から18歳になった人は法律の上で成人となりましたが、これからは、今まで以上に責任をもって、健全な社会を建設するために積極的に協力しなければなりません。社会的に成人になること、そして成人になった後のため、特別な準備をする必要があると思います。

人生哲学者オルテガ・イ・ガッセは「人間は歴史的な存在を持っている」と言っています。確かに、私たち一人ひとりには生まれた時から自分としての歴史的な存在が始まり、毎日自分の力で自分の人格を造っていかねばなりません。是非、皆さんにも自分の存在を確認して、時間と共に素晴らしい人生を造って欲しいのです。そのためには大きな努力が必要です。私たちの代わりに、だれも自分自身の歴史を造ることは出来ないからです。

皆さんはこれから2年または4年の間に知識的にも精神的にも成長しなければなりません。明せきな頭脳だけではなく、大きな心、寛容な心を形成する必要があります。

21世紀は科学と宗教の時代であると言われていいます。技術の急速な発達にともなって、将来の人間は知能の働きが機械的になる危険性があります。しかし機械には人間としての魂はありません。また、愛する心や感情もありません。ですから人格の基盤である知識の中に、精神性のある宗教的な心の価値をしっかりと身に付けることが重要です。そうすることによって皆さんが自分の人生に抱いている夢と希



公式YouTube
チャンネル

望は、一步一步確実に実現することが出来るでしょう。

本学はカトリック教会と聖ドミニコ修道会の精神に基づいて全人の形成を目指しています。カトリック教会は、2000年間、聖ドミニコ修道会800年間という長い歴史と数々の経験を通して人々の人生の教師として勤めてきています。その教えの本質を「愛と真理」という言葉にまとめています。そのために「愛と真理」は本学の建学の精神となっています。本学の保護者である聖カタリナは「愛と真理」を現実のものとして明らかにした偉大な女性です。聖カタリナは最も貧しい人々、困っている人々を助けるために、先ほど朗読された聖書に記されている「知恵」を選び、隣人愛の心で、すなわち聖人の心

と学者としての真理の探究を通して知恵者になったのです。

皆さんも、この世に生を受けた時、すでに神から寛大な心と高い能力をいただいています。この心と能力を学生生活の間にどんどん伸ばしてください。心からあふれる愛の光で社会を照らし、知恵者として真理を人々に与えることが出来る人間になってください。

皆さん、本学のキャンパスは家庭的な雰囲気にあふれています。この雰囲気の中で友情を育ててください。そして楽しい学生生活を送ることを望んでいます。

皆さんの健康と喜びをお祈りして、私の式辞いたします。

◆◆ St. Catherine News ◆◆

● 「MOBURU+」の動画「チームジョンマイラブの“おいでよ”瀬戸内ライフ」に本学教員が出演

web交流マガジン「MOBURU+ (モブルプラス)*」のPR動画「チームジョンマイラブの“おいでよ”瀬戸内ライフ」に保育学科 竹田信恵教授が出演しました。

動画では、坊っちゃん劇場のミュージカル「ジョンマイラブ」にヒロイン「鉄」役で出演していたAKB48チーム8の濱 咲友菜さんと竹蔵役の湯本貴大さんと女中役の永妻 倫さんが来学し、アルベルト・カルペンティール宗教画ギャラリーで撮影を行いました。

※「MOBURU+」・・・愛媛台湾親善協会が松山市を拠点に西瀬戸内・四国地域と台湾の交流を促す目的で立ち上げたweb交流マガジン



●2022年度入学式の開催

4月3日(日)、北条キャンパス聖カタリナホールにて大学、大学院、短大の入学式を挙行了いたしました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から入学生・教職員のみで開催いたしました。当日の入学式の模様は【聖カタリナ大学公式YouTubeチャンネル】で視聴することが可能です。

本学で初となる大学院「看護学研究科看護学専攻修士課程」を開設し、初めての入学生を迎えました。

【大学院看護学研究科看護学専攻の概要】

本大学院は、地域包括ケアの推進と構築を支えるための学術的基盤に基づく高度で知的な素養を養うとともに研究的視点を持ち、地域に浸透して自身の専門性を活かしたケアを構築しながら、保健医療福祉分野で指導者・管理者・教育者として貢献できる高度専門職業人を育てることを目的とします。また、本大学院は、松山市駅から徒歩1分に位置する聖カタリナ大学松山市駅キャンパスに開設されるとともに平日夜間、および土曜昼間の開講など社会人の方が学びやすい環境を整えています。

取得学位：修士(看護学)

入学定員：5名(男女共学)

修業年限：2年(最長4年)

開設時期：2022年4月1日

設置場所：聖カタリナ大学松山市駅キャンパス内(松山市永代町10番地1)



●公益財団法人大学基準協会による大学評価(認証評価)結果について

聖カタリナ大学は、公益財団法人大学基準協会の定める大学基準に適合していると認定されました。

認定期間は、2022(令和4)年4月1日から2029(令和11)年3月末日までの7年間です。



◆◇ 令和3年度後期行事 (R3.10.1～R4.3.31) ◇◇

月	日	曜	区	行 事
10	1	金	短	人事委員会
	3	日		おでかけ大学説明会 in 南予
	6	水		入試制度 WT 会議
			大	看護学科実習委員会、社会福祉学科会議
			短	教授会
	10	日		オープンキャンパス
	12	火	大	人事委員会
	13	水	大	教授会、健康スポーツ学科会議
	15	金		大学見学（川之石高校）、図書館委員会
	20	水		人間文化研究所フォーラム
			短	保育学科会議
	22	金		危機管理対策本部構成員会議、理事会
	25	月	大	入試・募集委員会
	26	火	大	教授会
			短	教授会
	27	水		キリスト教研究所フォーラム、キリスト教研究所 所員会、教務委員会、大学見学（北条高校）
			大	教務委員会北条キャンパス会議・市駅キャンパス 会議、学生生活委員会市駅キャンパス会議
				教学マネジメント委員会
	29	金		教学マネジメント委員会
	30	土		大学祭（配信）
11	1	月	短	保育実習Ⅰ（～11/13）
	2	火	大	人事委員会
	4	木		財務委員会
	5	金		I R 委員会
	10	水		奨学制度運営委員会
			大	教授会、健康スポーツ学科会議、社会福祉学科会議
	11	木		衛生委員会
			短	教授会
	12	金	大	教職課程委員会
	15	月		図書館委員会
	17	水		人間文化研究所フォーラム
			短	保育学科会議
	18	木	大	選考教授会
	19	金		F D 委員会
	20	土	大	推薦入試
			短	推薦入試、入試募集（判定）部会
	22	月	大	入試・募集委員会
				F D 研修会、キリスト教研究所フォーラム
			大	教授会、学生生活委員会市駅キャンパス会議、教 務委員会市駅キャンパス会議
	24	水		教授会
短			教授会	
26	金		中・長期経営計画委員会	
27	土		評議員会・理事会	
12	1	水		人間文化研究所紀要編集委員会

月	日	曜	区	行 事
12	1	水	大	教授会、人事委員会、看護学科実習委員会、社会 福祉学科会議
			短	教授会、保育学科会議
	2	木	大	研究倫理委員会
	7	火	短	人事委員会
	8	水	大	教授会、選考教授会、人事委員会、研究倫理委員 会看護学科分会、健康スポーツ学科会議
			短	大学評価委員会
	14	火		財務委員会
	15	水		S D 委員会、奨学制度運営委員会
			短	保育学科会議
	17	金		理事会、シェイクアウトえひめ、I R 委員会
	18	土		臨時理事会
	19	日	大	推薦入試
			短	推薦入試、入試募集（判定）部会
	20	月		将来計画委員会、人間文化研究所フォーラム、学 内クリスマス、入試・募集委員会
			火	冬季休業開始
	21	火	大	教授会
			短	教授会
	22	水		キリスト教研究所フォーラム
			大	人事委員会、教務委員会市駅キャンパス会議
	23	木		S D 研修会
1	7	金		冬季休業終了
	11	火	大	大学評価委員会
	12	水	大	教授会、研究倫理委員会、健康スポーツ学科会議
			短	保育学科会議
	13	木		危機管理対策本部会議
	14	金		F D 委員会
			短	教授会
	17	月	大	看護学科実習委員会
			短	幼稚園教育実習（～1/28）
	18	火		奨学制度運営委員会
	19	水		人間文化研究所フォーラム
			大	社会福祉学科会議、人間社会学科会議、研究委員 会看護学科分会
	21	金		危機管理対策本部会議
			大	人事委員会
	26	水		キリスト教研究所フォーラム、教務委員会
			大	教務委員会市駅キャンパス会議、学生生活委員会 市駅キャンパス会議
				教学マネジメント委員会
28	金		評議員会・理事会	
29	土		評議員会・理事会	
2	2	水		学生生活委員会
			大	看護学科実習委員会

月	日	曜	区	行 事
2	2	水	短	教授会、人事委員会
	4	金	大	人事委員会
	5	土		一般入試
	8	火	大	選考教授会、入試判定会議、入試判定研究科委員会
			短	入試判定部会
	9	水	大	教授会、入試・募集委員会、健康スポーツ学科会議
			短	教授会
	14	月		危機管理対策本部会議
			大	教授会、教務委員会市駅キャンパス会議
	16	水		人間文化研究所フォーラム
			短	保育学科会議、人事教授会
	17	木	大	教務委員会
	21	月		財務委員会、入試・募集委員会
			大	教授会
	22	火	大	人事委員会
			短	教務委員会
	23	水		一般入試
	24	木		消防点検・消防訓練
			大	入試・募集委員会
			短	教授会
	25	金		理事会、奨学制度運営委員会、キリスト教研究所フォーラム

月	日	曜	区	行 事
2	25	金	大	教授会
3	2	水	大	選考教授会、人事委員会、人間社会学科会議、看護学科実習委員会
	7	月		第三者評価委員会
	8	火	短	教授会
	9	水	大	教授会、健康スポーツ学科会議、教務委員会市駅キャンパス会議、研究倫理委員会看護学科分会
	10	木		一般入試
	11	金	大	入試・募集委員会
	14	月	大	社会福祉学科会議
	15	火		卒業式、入試・募集委員会
			大	教授会
	16	水	短	教授会
	18	金		危機管理対策本部構成員会議
			大	人事委員会
			短	初心者のためのピアノ教室
	21	月		春季休業開始
	23	水		奨学制度運営委員会
			大	教職課程委員会、学生生活委員会市駅キャンパス会議、教務委員会市駅キャンパス会議
			短	保育学科会議
	26	土		評議員会・理事会

大学
ドローン動画



大学
公式LINE



大学公式
Instagram



※QRコードをスキャンするとLINEの友だちに追加されます。

受験希望
の方



大学HP



保育学科
ブログ



ご寄付のお願い【教育振興募金のご案内】

聖カタリナ学園は、2025年に創立100周年を迎えます。

聖カタリナ学園では聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部の教育事業を永続的に発展させるため、また、教育環境の維持、充実を図るための支援として、皆様からの募金のご支援を受け付けております。

趣旨をご理解いただき、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ・お申し込み先】

学校法人聖カタリナ学園 法人本部事務局 〒799-2496 愛媛県松山市北条660番地

TEL 089-993-1300 FAX 089-992-5616



◆◇ 令和3年度卒業生就職等進路状況 ◇◆

令和4年5月1日現在

1. 業種別状況

【聖カタリナ大学】

業種 / 学科	就職者数					
	社会福祉	人間社会	健康スポーツ	看護	合計	
企業	建設／製造	3	16	15	0	34
	情報通信／運輸、郵便	2	4	2	0	8
	卸売，小売	6	16	1	0	23
	金融，保険	0	1	0	0	1
	サービス(宿泊，複合他)	2	5	10	0	17
	その他(電気，不動産他)	2	4	3	0	9
	教育，学習支援	0	0	6	0	6
医療，福祉	医療，保健衛生(病院他)	3	0	1	58	62
	児童福祉施設	2	0	0	0	2
	老人福祉施設	9	0	0	0	9
	障害者福祉施設	7	0	0	0	7
その他(社会福祉協議会他)	2	0	0	0	2	
公務	地方公務員	3	2	1	4	10

就職者数		41	48	39	62	190
	(県 内)	(37)	(39)	(33)	(49)	(158)
	(県 外)	(4)	(9)	(6)	(13)	(32)
卒業生内訳	就職希望者数	42	48	40	62	192
	就職率	97.6%	100.0%	97.5%	100.0%	99.0%
	(県内就職率)	(90.2%)	(81.3%)	(84.6%)	(79.0%)	(83.1%)
	進学者数	0	1	3	1	5
	家事・その他	1	2	1	2	6
卒業者数	43	51	44	65	203	

【聖カタリナ大学短期大学部】

業種 / 学科	就職者数	
	保育	
教育， 学習支援	公立幼稚園	1
	私立幼稚園	26
	幼保連携型認定こども園	18
児童福祉	公立保育所	7
	私立保育所・託児所	16
	その他の児童福祉事業	4
企業	卸売，小売	1

就職者数		73
	(県 内)	(72)
	(県 外)	(1)
卒業生内訳	就職希望者数	73
	就職率	100.0%
	(県内就職率)	(98.6%)
	進学者数	4
	家事・その他	4
卒業者数	81	

2. 職種別状況

【聖カタリナ大学】

職種 / 学科	就職者数				
	社会福祉	人間社会	健康スポーツ	看護	合計
医療ソーシャルワーカー (MSW)	2	0	0	0	2
相談員 (社会福祉主事他)	5	0	0	0	5
支援員 (知的・身障・児童他)	11	0	0	0	11
介護福祉士，介護職	7	0	0	0	7
看護師・保健師	0	0	0	61	61
教員	0	0	5	0	5
事務	4	11	5	0	20
販売，営業	7	20	10	0	37
インストラクター・実践指導者他	0	0	3	0	3
その他 (サービス，保安，生産他)	5	17	16	1	39
合計	41	48	39	62	190

【聖カタリナ大学短期大学部】

職種 / 学科	就職者数
	保育
幼稚園教諭	45
保育士	25
社会福祉専門職業，介護サービス職業	2
販売	1
合計	73
(保育専門職への就職率)	(98.6%)

◆◇ 令和3年度教授会議題（後期） ◇◇

【聖カタリナ大学教授会議題】

令和3年10月13日 第7回

1. 退学について
2. 休学について
3. 復籍について
4. 履修科目登録の特別許可について
5. 研究倫理委員会看護学科分会関係規程の一部改正について

令和3年10月26日 第8回

1. 2022年度総合型選抜合格者選考について
2. 2022年度第3年次編入学推薦選抜（提携校Ⅰ期・指定校）合格者選考について
3. 2022年度第3年次編入学一般選抜Ⅰ期合格者選考について

令和3年11月10日 第9回

1. 休学について
2. 復籍について
3. 2022年度学年暦について

令和3年11月24日 第10回

1. 2022年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科学校推薦型選抜（指定校推薦前期・専願推薦・スポーツ推薦Ⅰ期）合格者選考について
2. 2022年度人間社会学科外国人留学生特別選抜（指定校推薦）合格者選考について

令和3年12月1日 第11回

1. 2022年度看護学科学校推薦型選抜（指定校推薦・公募制推薦・学園特別推薦）合格者選考について

令和3年12月8日 第12回

1. 学長賞表彰者について
2. 学則別表（教職科目）の改正について

令和3年12月21日 第13回

1. 2022年度社会福祉学科・健康スポーツ学科指定校推薦選抜（後期）合格者選考について
2. 2022年度人間社会学科・健康スポーツ学科スポーツ推薦選抜Ⅱ期合格者選考について
3. 2022年度人間社会学科・健康スポーツ学科一般推薦選抜合格者選考について

令和4年1月12日 第14回

1. 退学について
2. 休学について
3. 聖カタリナ大学学則の一部改正について

令和4年2月9日 第15回

1. 2022（令和4）年度入学者選抜における「受験機会の更なる確保」の対応について
2. 学修成果の評価に関する方針（アセスメント・ポリシー）について

令和4年2月14日 第16回

1. 2022年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科一般選抜（A日程）合格者選考について
2. 2022年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科共通テスト利用選抜（前期）合格者選考について
3. 2022年度看護学科試験選抜合格者選考について

令和4年2月21日 第17回

1. 卒業判定について

令和4年2月25日 第18回

1. 2022年度社会福祉学科・人間社会学科一般選抜（B日程）合格者選考について
2. 2022年度人間社会学科第3年次編入学一般選抜（Ⅱ期）合格者選考について
3. 2022年度看護学科共通テストプラス選抜（A日程）合格者選考について

令和4年3月9日 第19回

1. 2023年度聖カタリナ大学及び大学院の入学試験概要について
2. 卒業の認定について
3. 退学について
4. 休学について
5. 復学について
6. 編入学に関する規程の一部改正について
7. 教職課程委員会規程の一部改正について
8. 大学院設置に係る規程の一部改正について

令和4年3月15日 第20回

1. 2022年度人間社会学科・健康スポーツ学科一般選抜（C日程）合格者選考について
2. 2022年度人間社会学科・健康スポーツ学科共通テスト利用選抜（後期）合格者選考について
3. 2022年度看護学科共通テストプラス選抜（B日程）合格者選考について
4. 退学について
5. 進級判定について

【聖カタリナ大学短期大学部教授会議題】

令和3年10月6日 第6回

1. 前学期末卒業の認定について
2. 退学について

令和3年10月26日 第7回

1. 2022年度総合型選抜Ⅰ期合格者選考について

令和3年11月11日 第8回

1. 退学について
2. 休学について
3. 2022年度学年暦について

令和3年11月24日 第9回

1. 2022年度学校推薦型選抜（指定校推薦前期・専願推薦）合格者選考について

令和3年12月1日 第10回

1. 学長賞表彰者について

令和3年12月21日 第11回

1. 2022年度総合型選抜Ⅱ期合格者選考について
2. 2022年度指定校推薦選抜（後期）合格者選考について
3. 2022年度社会人特別選抜Ⅰ期合格者選考について
4. アドミッション・ポリシーについて

令和4年1月14日 第12回

審議事項なし

令和4年2月2日 第13回

1. 2022（令和4）年度入学者選抜における「受験機会の更なる確保」の対応について

令和4年2月9日 第14回

1. 2022年度一般選抜（A日程）合格者選考について
2. 2022年度共通テスト利用選抜（前期）合格者選考について

令和4年2月24日 第15回

1. 卒業判定について

令和4年3月8日 第16回

1. 2023年度聖カタリナ大学短期大学部の入学試験概要入学者選抜について
2. 復学について
3. 除籍について
4. 大学院設置に係る規程の一部改正について

令和4年3月16日 第17回

1. 2022年度社会人特別選抜Ⅱ期（リカレント訓練）合格者選考について

◆◆ 令和3年度学校法人聖カタリナ学園決算概要 ◆◆

■ 1. 資金収支決算

資金収支決算は、資金収入が53億2百万円（予算比+60百万円）、資金支出が55億74百万円（予算比△15百万円）となりました。結果、収支差額△2億72百万円に前年度繰越支払資金22億39百万円を加算し、翌年度繰越支払資金は19億66百万円となりました。

■**資金収支計算書**：当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度の支払資金（現金&いつでも引き出すことのできる預貯金）の収入及び支出の額を表します。

(注) 表中数字の単位は、「百万円」です。
百万円未満は四捨五入して記載しています。

科 目	予 算 (a)	決 算 (b)	増 減 (b)-(a)	
前年度繰越支払資金	2,239	2,239	—	
当年度	資金 収入	5,241	5,302	60
	資金 支出	5,589	5,574	△15
	収 支 差 額	△348	△272	75
翌年度繰越支払資金	1,891	1,966	75	

■ 2. 事業活動収支決算

事業活動収支決算は、事業活動収入が47億70百万円（予算比+76百万円）、事業活動支出が45億43百万円（予算比△1百万円）となり、基本金組入前当年度収支差額は2億27百万円（予算比+76百万円）となりました。同差額より基本金を組み入れた結果、当年度収支差額は△3億75百万円（予算比+77百万円）となり、翌年度繰越収支差額は△59億57百万円（予算比+77百万円）となりました。

■**事業活動収支計算書**：当該会計年度の事業活動収入（学校の負債とされない収入）及び事業活動支出（現預金の支出を伴わない減価償却額や退職給与引当金繰入額などを含む）の内容を表すとともに、基本金組入前及び基本金組入後の収支均等状態を明らかにします。一般企業会計の「損益計算書」に当たります（右表は総括様式）。

科 目	予 算 (a)	決 算 (b)	増 減 (b)-(a)
事業活動収入計 ①	4,694	4,770	76
事業活動支出計 ②	4,543	4,543	△1
基本金組入前当年度収支差額 (①-②)	151	227	76
基本金組入額合計	△603	△603	0
当年度収支差額	△452	△375	77
前年度繰越収支差額	△5,581	△5,581	—
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△6,033	△5,957	77

■ 3. 貸借対照表

貸借対照表は、本年度末（令和4年3月31日）において、資産の部は168億56百万円、負債の部は32億75百万円、純資産の部（正味財産）は135億81百万円（基本金195億37百万円と繰越収支差額△59億57百万円の合計額）となりました。

■**貸借対照表**：一定時点(本学は3月末現在)の資産、負債、純資産(基本金・繰越収支差額)の内容及び在り高を明示し、財産の状態を表します。

科 目	本年度末 (a)	前年度末 (b)	増 減 (a)-(b)
資産の部			
固定資産	14,299	13,605	693
流動資産	2,557	2,637	△80
資産の部合計	16,856	16,243	613
負債の部			
固定負債	2,311	2,061	250
流動負債	964	829	135
負債の部合計	3,275	2,889	386
純資産の部			
基本 金	19,537	18,935	603
繰越収支差額	△5,957	△5,581	△375
純資産の部合計	13,581	13,354	227
負債及び純資産の部合計	16,856	16,243	613

* 学校法人会計基準について * * * * *
学校法人は、一般事業法人と異なり、利益の移得を目的とした組織ではありません。学生生徒や社会に対して、教育研究活動を通じた人材育成という崇高な使命を負った社会性、公共性の高い存在です。しかしながら、「経営」という視点を欠き、過大な設備投資や場当たりの運営を続けていると、収入と支出のバランスを失い、経営基盤の不健全化を招き、場合によっては、存続すら危うくなってしまいます。こういった事態を防ぐために、経営の実態を会計面から適時、的確に把握できるように、一定の会計処理ルールが定められています。それが、昭和46年に文部省令第18号として制定された「学校法人会計基準」です。国または地方公共団体から補助金の交付を受けている学校法人は、私立学校振興助成法第14条に基づき、「文部科学大臣の定める基準に従い、会計処理を行い、貸借対照表、収支計算書その他の財務計算に関する書類を作成しなければならない」とされています。なお、学校法人会計基準の一部を改正する省令（平成25年4月22日文部科学省令第15号）が平成27年4月1日に施行され、平成27年度以降の予算・決算に適用されています。* * * * *

◆◆ 人 事 ◆◆

《令和3年10月7日付け》
【新規採用】
(松山市駅キャンパス)

看護学科実習 山川 恵子
助手(非)

《令和3年10月31日付け》
【退職】
(北条キャンパス)

図書課
事務職員(非) 羽藤 花恋

《令和3年11月1日付け》
【新規採用】
会計課

事務職員 ヘンスリー 美絵

《令和3年12月6日付け》
【新規採用】
会計課

事務職員(非)
サループ専属
トレーナー 大野 純
サッカー部
コーチ

《令和3年12月31日付け》
【退職】
看護学科事務部局

事務職員(非) 稲見 郁子
看護学科
実習助手(非) 西濱 由里子

《令和4年1月1日付け》
【新規採用】
教務課

事務職員(非) 乗松 朋代

《令和4年1月31日付け》
【退職】
総務課

技術職員(ぼ
けつ)(非) 杉浦 知子

《令和4年2月1日付け》
【配置換え】
学生支援課

主任 名村 文
総務課

事務職員 山下 真妃
《令和4年3月31日付け》
【退職】

人間健康福祉学部

教授 稲田 俊治
青木 光子
関谷 由香里
教授 森岡 陽介
准教授 曾我部 敦介

講師 小西 円
保育学科
助教 宮崎 正宇
看護学科事務部局
事務部局長 三宅 来
実習助手(非) 佐伯 美鈴
実習助手(非) 緒方 智子

就職課
課長 鈴木 勝
教務課
事務職員(非) 畔地 利枝
入試課
事務職員(非) 森 絵莉菜

【新規採用】
人間健康福祉学部
教授 野村 美千江
教授 岡田 ルリ子
教授 宮良 俊行
准教授 田村 昌彦

(8Pへ続く)

助教	雑賀 正彦	附属図書館分館		准教授	田村 優佳	看護学科事務部局	
助教	鬼頭 裕美	事務職員(非)	黒田 梨乃	助教	上田 裕子	課長	山本 直樹
助教	馬越 千里	法人本部事務局		就職課		主任	山内 理恵子
保育学科		事務職員(非)	三宅 來	課長補佐	蔵前 純二	【配置換え】	
教授	畔地 利枝	【昇任】		入試課		就職課	
就職課		人間健康福祉学部		課長補佐	重松 映美	主任	品部 真佑
事務職員	森 絵莉菜	教授	田村 周一	係長	中村 太亮		
図書課		准教授	永易 裕子	教務課			
事務職員	渡辺 綺華	准教授	村上 佳子	課長補佐	大西 章公		
看護学科事務部局		准教授	白柿 綾	主任	渡部 美奈子		
事務部局長	武知 浩二	准教授	増田 裕美	学生支援課			
事務職員	稲田 有伊子	准教授	中村 五月	主任	鈴岡 知佳		

◆◆ 研究室探訪 ◆◆

聖カタリナ大学 人間健康福祉学部 社会福祉学科 助教 鬼頭 裕美

今から1か月前、2022年4月に着任いたしました。緊張の初日、カタリナホールの前の花壇で、さわやかな風に身をゆだねるチューリップと桜がお出迎えてくれました。聖カタリナ大学の第一印象は、教職員のみなさまの温かさと学生の元気のよさです。研究室にいても元気な声が聞こえてきて、学生たちがスポーツにいそしむ様子や園児の豊かな表情までが目に浮かぶようです。このような環境で教育や研究をする機会を与えてくださったことに深く感謝申し上げます。

さて、これまでの経歴や専門領域について触れたいと思います。私は大学で心理学を学びました。カウンセラーとしての道を選択しかけたものの、自分の関心は心(脳)へのアプローチではなく、現実的な課題(生活課題)解決による心理的負担軽減だと気づき、調べに調べて医療ソーシャルワーカー(MSW)という職種にたどり着きました。そして、友人の勧めにより大学院で福祉を学びました。福祉分野のスペシャリストである先生方の講義や信念は、ソーシャルワーカーとしての私の根っことなり、支えになっています。現在大学教員5年目で、毎年卒業時に「最初は全然興味がなかったけど、いつか大学院でもっと福祉を学びたいです。面白かったです!」と言ってくれる学生がいます。尊敬する恩師から受け継いだものをわずかでも次世代につなぐことができたのだとしたら、教員冥利につきます。

友人や先輩、実習先の指導者にも恵まれて充実した大学院生活を送りましたが、社会福祉士の受験資格を取得できるカリキュラムではなかったために、就職活動には大変苦労しました。当時、都心の総合病院のMSW就職倍率は30倍を超えており、資格が

なければスタートラインにも立てない厳しさを味わいました。この経験は、現在学生指導にいきっており、人間万事塞翁が馬だと思わざるを得ません。

その後、医療、高齢、障害、児童、地域、低所得の領域で約15年相談援助の実践を積みました。個人の問題は別の誰かの問題でもあること、社会的に弱い立場の人に社会構造上のひずみが寄ること、弱者は複合的な問題を抱えることとなり、心身ともにハードな生活を余儀なくされることを、肌で感じてきました。

急速に変化する近年の「スピード社会」において、社会保障を含む既存の福祉制度や仕組みは限界にきています。一方、人々の価値観はなかなか変化せず、特に地方では「家父長制度」の名残や「ジェンダーギャップ」が色濃く残り、差別や偏見も根強いものがあります。真の「多様性社会」の実現にむけて、「ウェルビーイング」「人権」「ストレンガス」「社会モデル」「社会的包摂」など福祉的視点の価値の有用性を提示し、他分野や他業種との協働によって、社会課題の解決を目指すことに強い関心があります。現在は、ひとり親の支援と外出・移動支援について、実践家や他分野の研究者から学び、共に研究を行っています。

学生には、すばらしい感性をもつこの時期に、社会をよくするために奮闘する様々な大人に出会い、ぜひともロールモデルを見つけてほしいです。これからもその橋渡しができるよう、ネットワークを広げ、常に自分自身をアップデートしていきたいと思っています。みなさま、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

聖カタリナ大学・短期大学部学報
〒799-2496 愛媛県松山市北条6-6-0 番地
TEL. 089-993-0702(代)
<https://www.catherine.ac.jp>
編集・発行
広報委員会
kouhou@catherine.ac.jp